

お知らせ

記者発表資料

令和7年7月14日

■同時発表先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

渇水対策本部の設置について

～日野川水系、斐伊川水系で渇水調整を実施～

中国地方整備局管内では、5月以降少雨の状況が継続していることにより渇水傾向となっている河川があります。

斐伊川水系においては、平年に比べて降水量が少ない状況が続いているため、6月30日（月）に斐伊川渇水調整協議会（幹事会）を開催し、7月7日（月）から渇水調整を実施するとともに、出雲河川事務所に渇水対策支部を設置しました。

また、日野川水系においても、平年に比べて降水量が少ない状況が続いているため、5月22日（木）に日野川流域水利用協議会を開催し、7月14日（月）から取水制限を実施するとともに、日野川河川事務所に渇水対策支部を設置しました。

このような状況のなか、7月10日に広島地方気象台が発表した中国地方の「向こう1ヶ月の天候の見通し」（※参考：気象庁ホームページ）では、降水量は平年に比べ雨の日は同じか少ないと見込まれており、渇水が深刻化することも予想されます。

このため、国土交通省中国地方整備局では、適切な渇水対策を円滑に行うことを目的とする「中国地方整備局渇水対策本部」を7月14日（月）に設置しました。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 河川部 河川環境課

082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

【担当】河川部 河川環境課長 やまがた山形 こういち浩一（内線3651）

河川部 河川環境課長補佐 みずたに水谷 かずま一馬（内線3652）



◇現在の取水制限状況について

中国地方整備局管内の一級河川における取水制限等の状況は下記のとおりです。

【取水制限】

○斐伊川水系

- ・ 7月7日に下記渇水調整を開始（第1次渇水調整段階）
上島地点の確保流量 10.6m³/s（正常流量 15.2m³/sの約70%）
- ・ 7月14日に下記渇水調整に移行（第2次渇水調整段階）
上島地点の確保流量 9.1m³/s（正常流量 15.2m³/sの約60%）

○日野川水系

- ・ 7月14日より下記取水制限を実施。
・ 上水道、工業用水、農業用水 各10%

◇渇水調整協議会等の開催経緯

○斐伊川

- ・ 6月30日（月） 斐伊川渇水調整協議会幹事会 開催

○日野川

- ・ 5月22日（木） 日野川流域水利用協議会 開催

◇現在の渇水対策支部設置状況

中国地方整備局管内の事務所における渇水対策支部設置状況は下記のとおりです。

- 出雲河川事務所 （斐伊川） 7月 7日（月）設置
- 日野川河川事務所 （日野川） 7月14日（月）設置

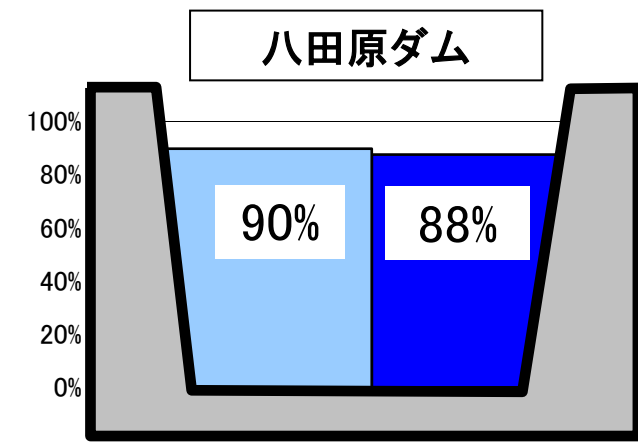
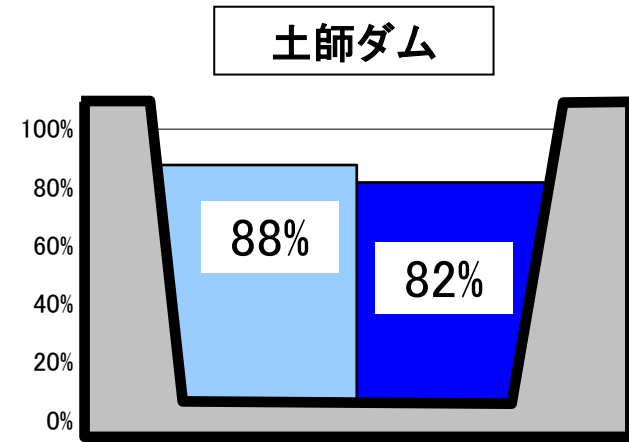
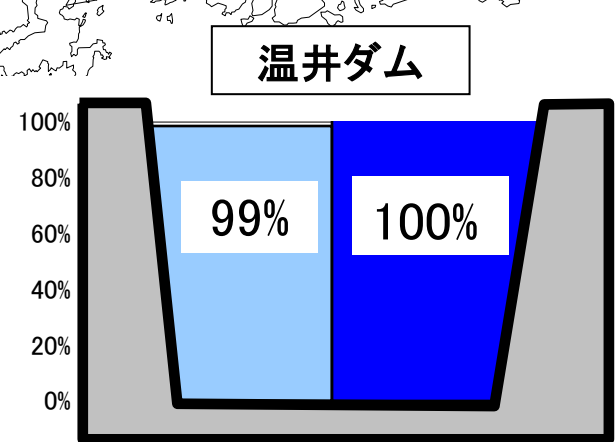
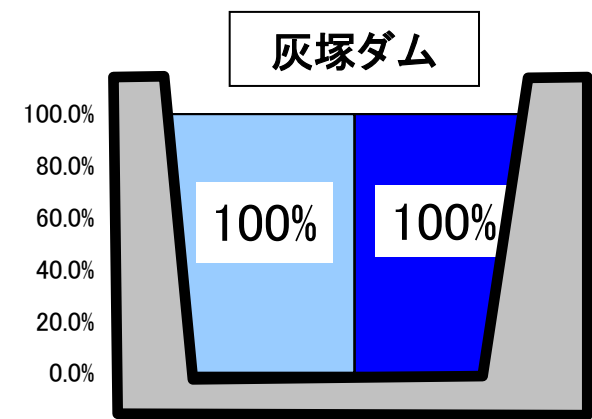
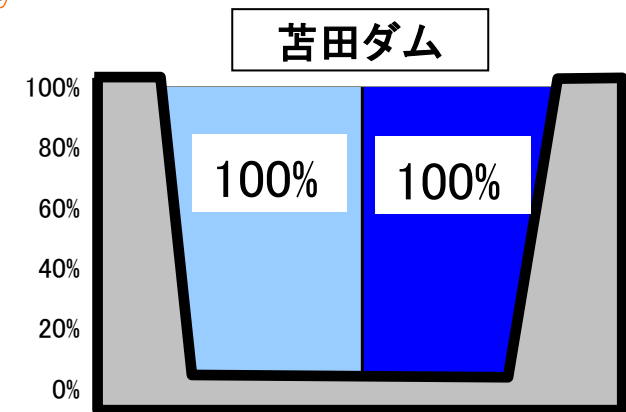
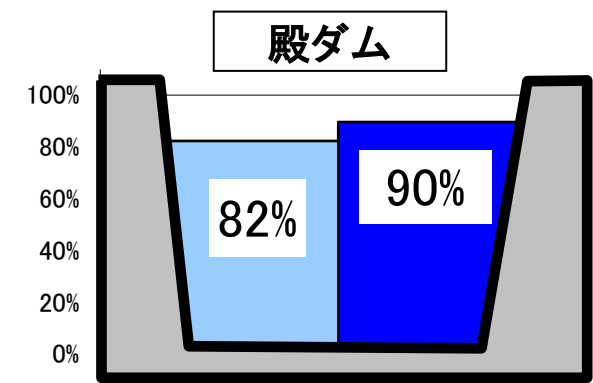
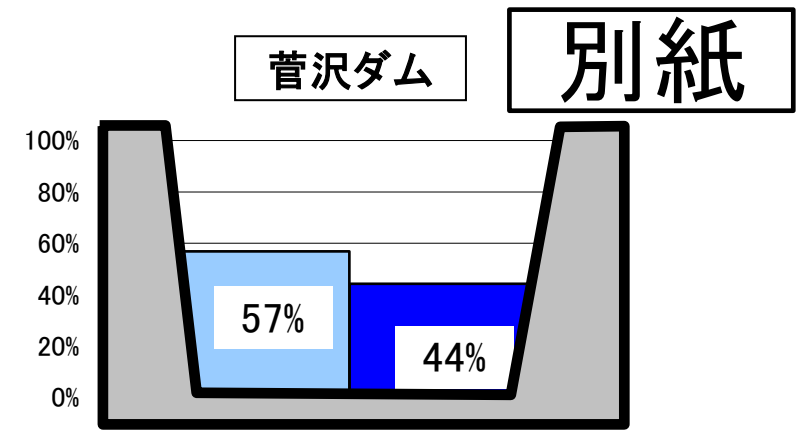
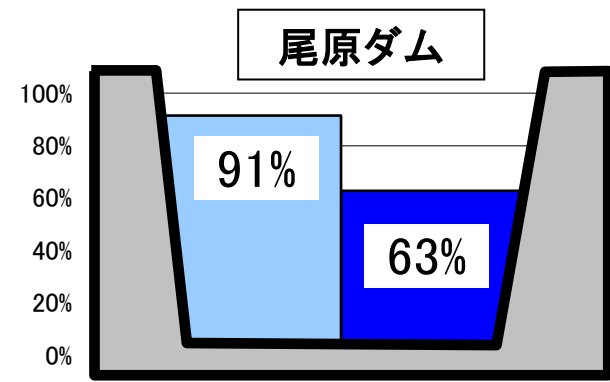
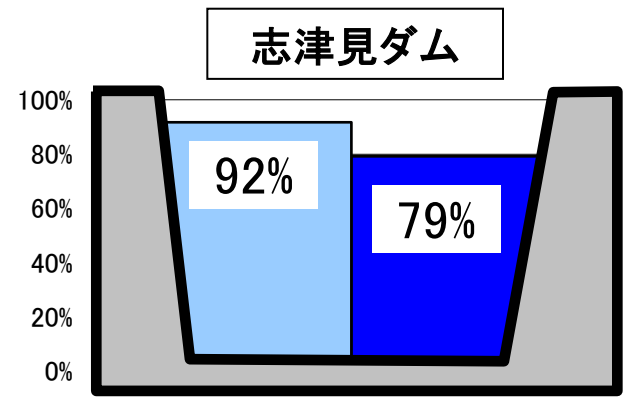
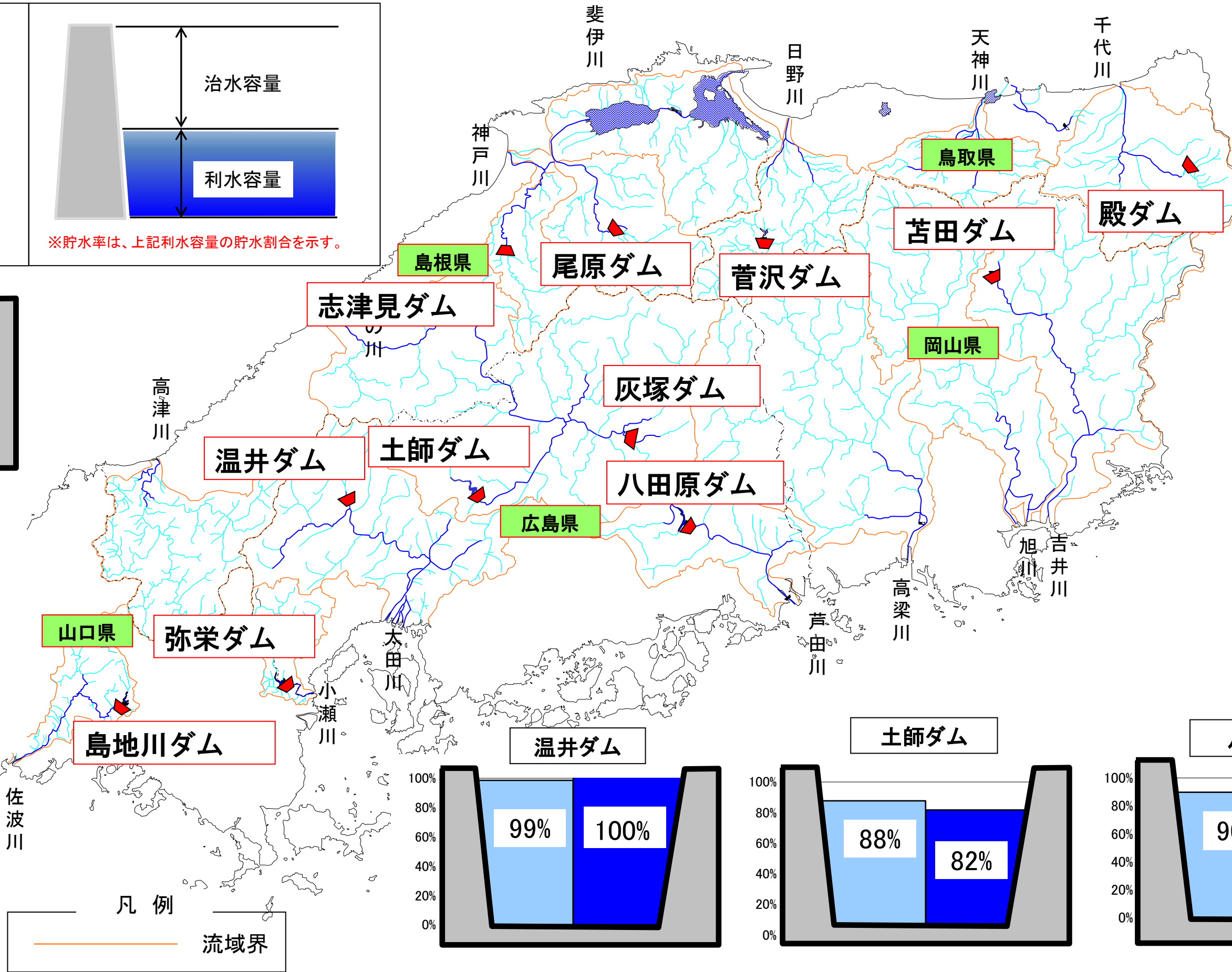
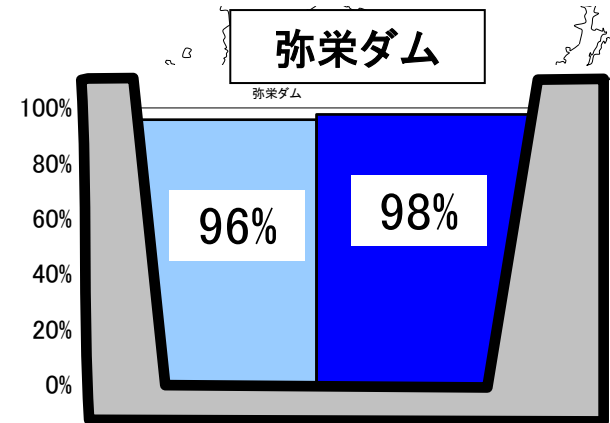
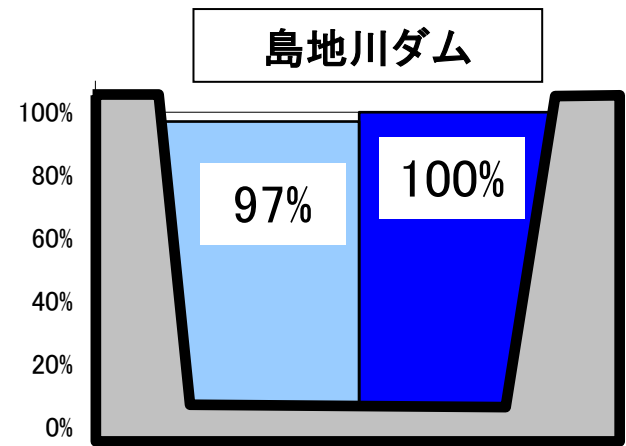
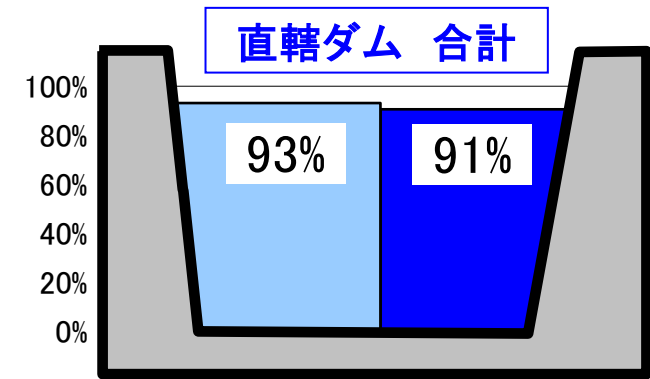
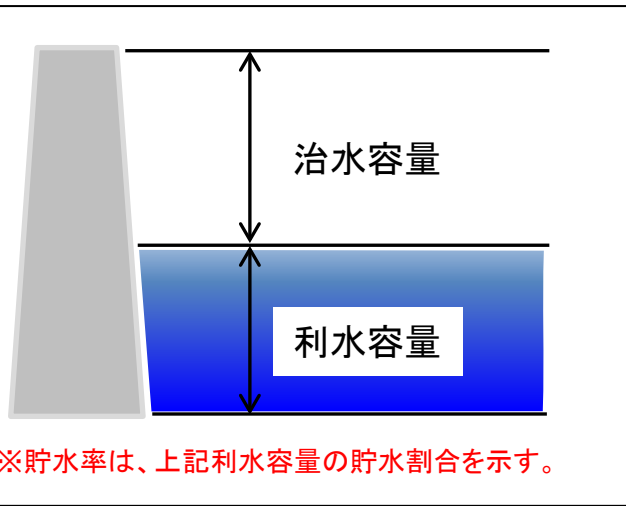
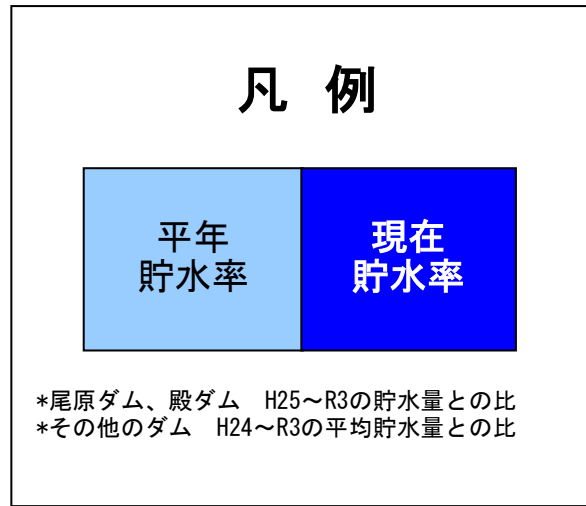
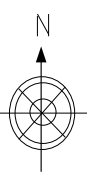
◇各水系の状況

中国地方の一級河川の降雨状況及び中国地方整備局が管理しているダムの貯水状況は別紙のとおりです。

◇渇水情報について

中国地方の渇水状況を広くお知らせし、限りある水資源を大切に使うため、主に一級河川のダム貯水状況などを中国地方整備局ホームページ(<http://www.cgr.mlit.go.jp>)に掲載します。

中国地方の直轄ダム貯水量状況 (令和7年7月14日 0:00時点)



別紙

向こう 1 か月の天候の見通し
中国地方（7/12～8/11）

予報のポイント

- 向こう 1 か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高い状態が続く見込みです。
- 太平洋高気圧に覆われやすい時期があるため、向こう 1 か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多いでしょう。

向こう 1 か月の天候

- 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（向こう 1 か月）	降水量（向こう 1 か月）	日照時間（向こう 1 か月）
中国地方	山陰	低10 並20 高70% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	山陽		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
		平均気温（1 か月） 	降水量（1 か月） 	日照時間（1 か月）

数値予報モデルによる予測結果

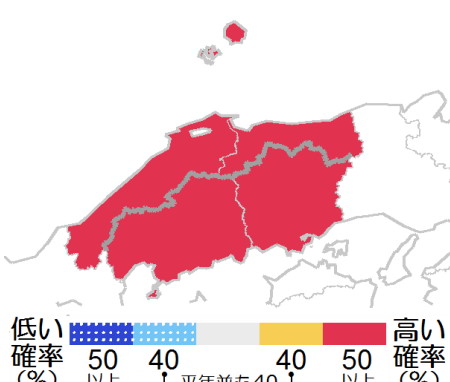
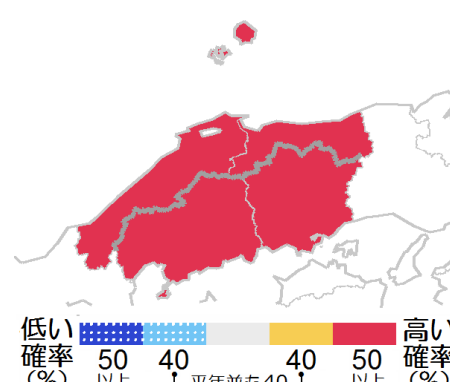
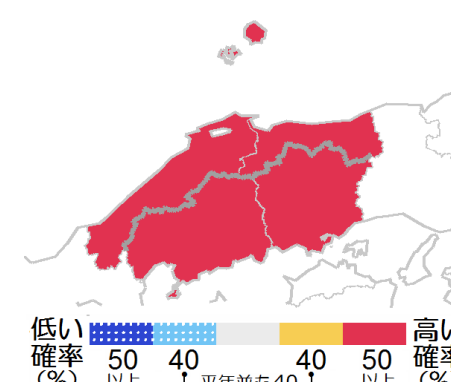
1 か月平均の海面気圧（左図）は、本州付近は平年より高く、東・西日本中心に太平洋高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。一方、東シナ海付近では気圧が平年より低く予測され、沖縄・奄美では湿った空気の影響を受けやすい時期があるでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、北日本を中心に、平年より高いと予測されています。

7/12 - 8/8
CONTOUR PSEA: 4hPa ANOMALY: 2hPa

7/12 - 8/8
CONTOUR TEMP.: 3°C ANOMALY: 1°C

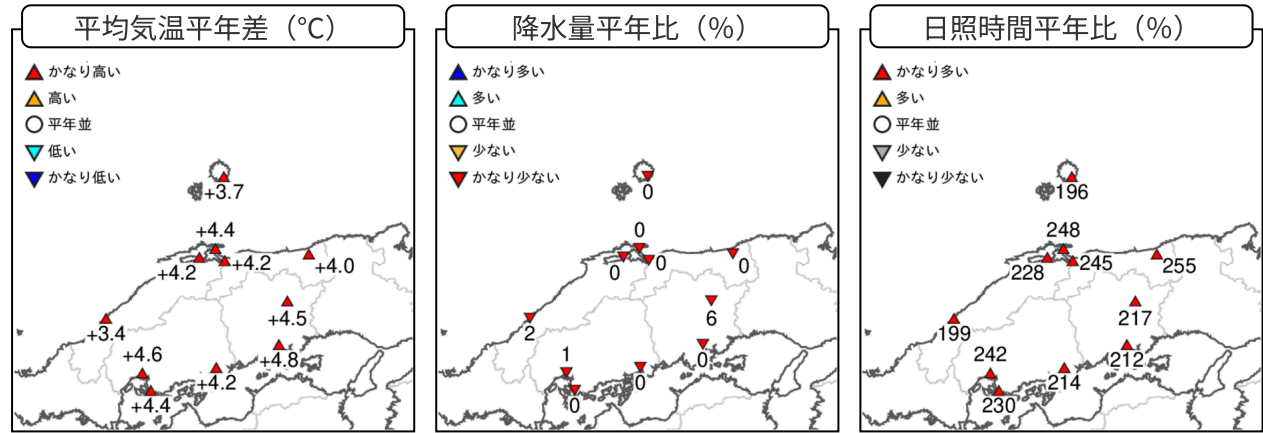
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

		1 週目 7/12～7/18	2 週目 7/19～7/25	3～4 週目 7/26～8/8
天候		平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	中国地方	低10 並10 高 80% 高い 見込み	低10 並30 高 60% 高い 見込み	低10 並30 高 60% 高い 見込み
		平均気温（1 週目） 	平均気温（2 週目） 	平均気温（3～4 週目） 

明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報（<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>）を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/chugoku1.html>）をご覧ください。文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「[参考（確率予報の解説）](#)」をご覧ください。

最近 1 週間の天候経過



（実況） 7/3～7/9	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	+4.2℃（かなり高い）	1％（かなり少ない）	226％（かなり多い）
山陰	+4.0℃（かなり高い）	0％（かなり少ない）	229％（かなり多い）
山陽	+4.5℃（かなり高い）	1％（かなり少ない）	223％（かなり多い）

これらの図において、値に「J」が付く場合は元となるデータの一部に欠測等が含まれていることを示しています。また、「x」となる場合は欠測等により、「//」となる場合は平年値がない等により、値が求められないことを示しています。

参考

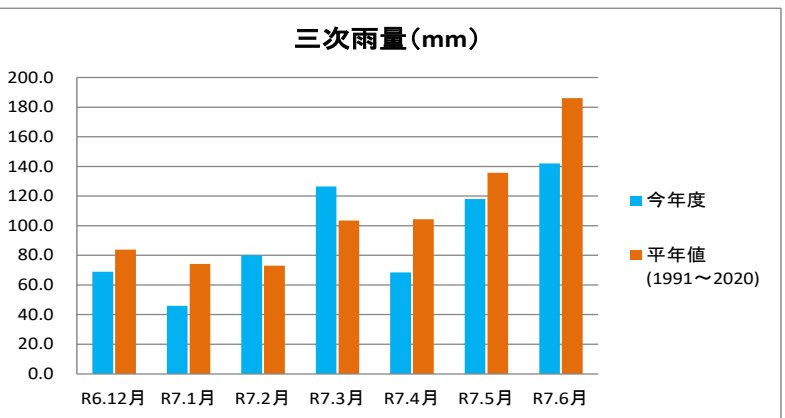
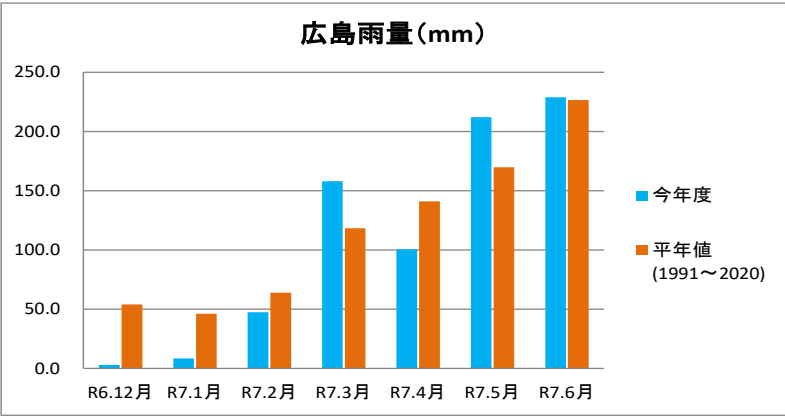
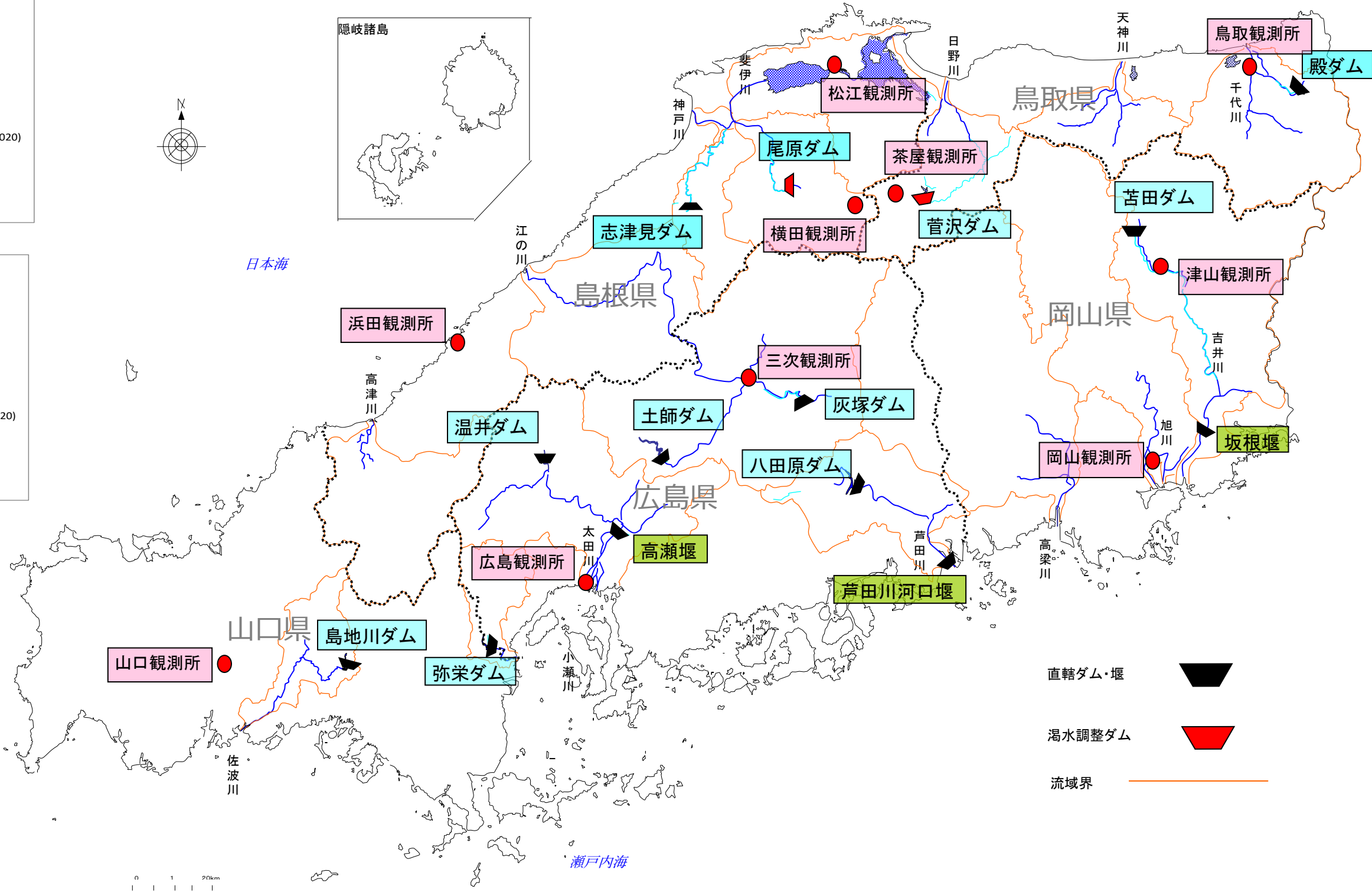
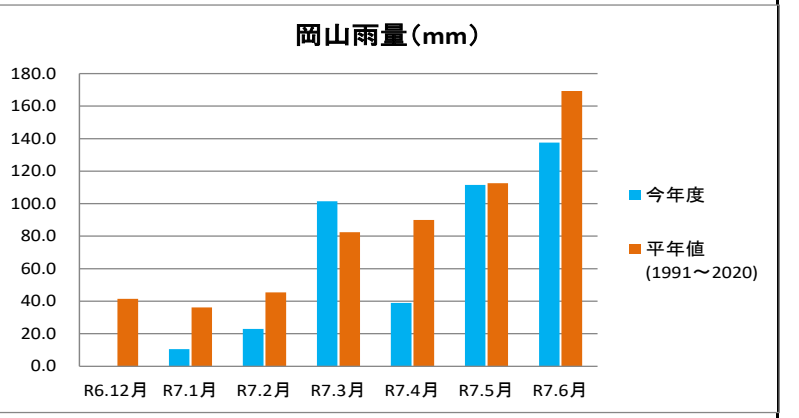
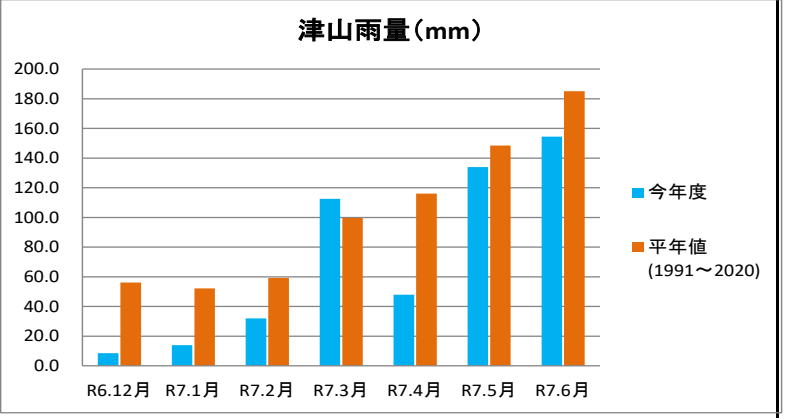
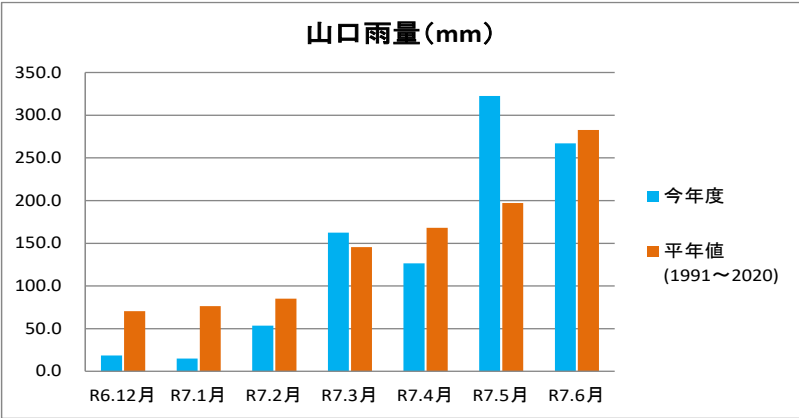
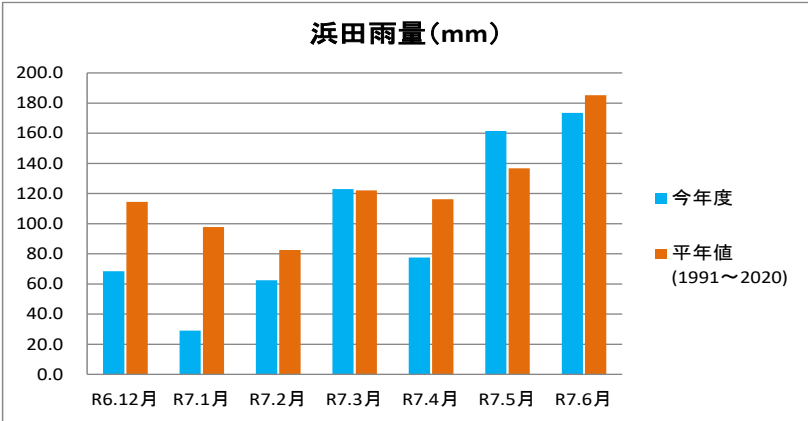
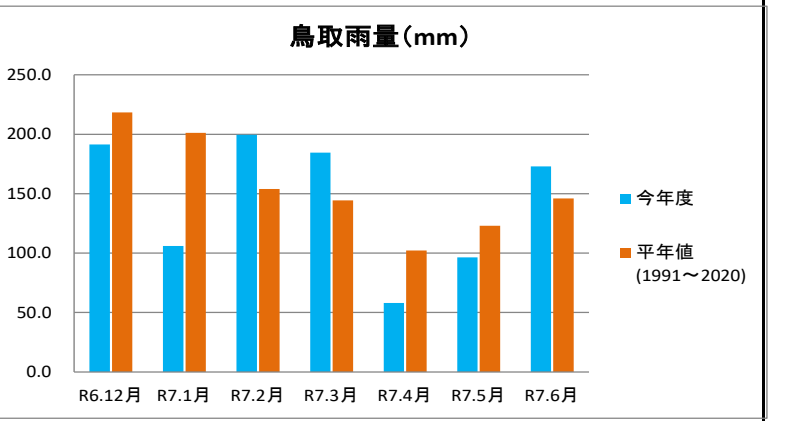
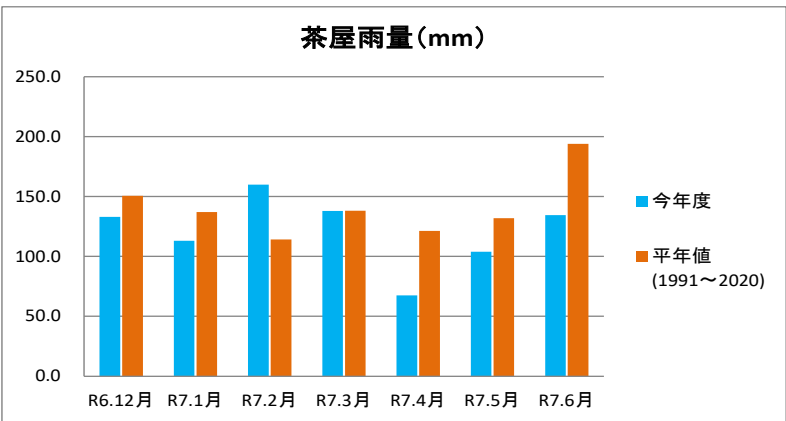
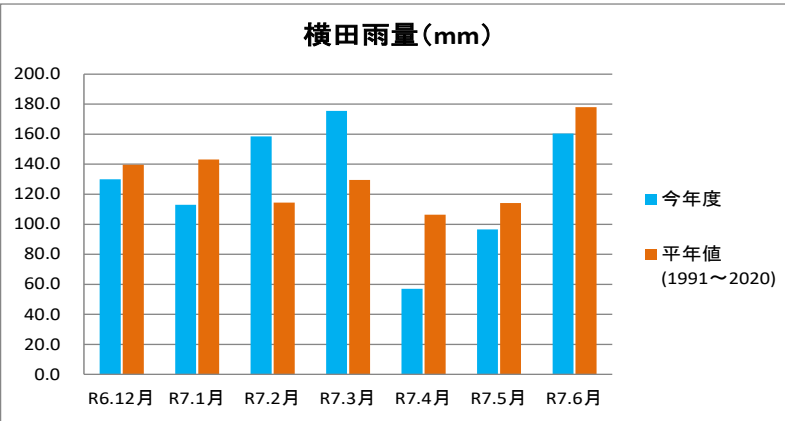
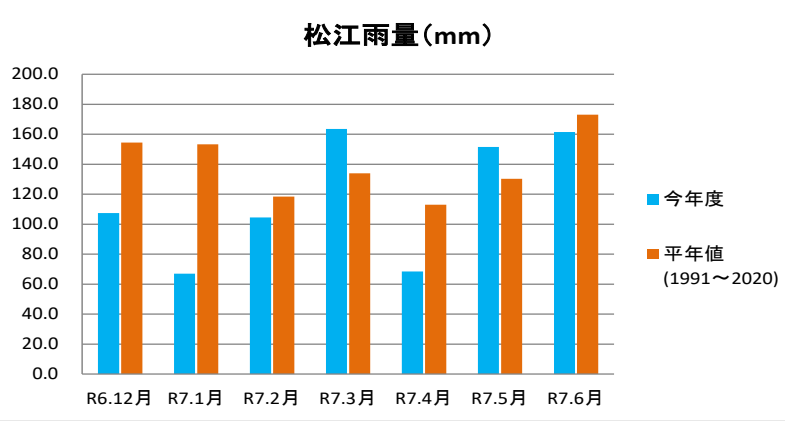
確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30） （30：40：30） （30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

中国地方の降雨・降雪状況(R7.6月末時点)

参考資料-1

	R6.12～R7.6降雨量 合計の平年比	R6.6降雨量の 平年比
鳥取	93%	130%
茶屋	86%	140%
横田	96%	139%
松江	84%	88%
浜田	81%	76%
津山	70%	54%
岡山	73%	51%
三次	89%	110%
広島	75%	74%
山口	69%	63%



年 次	水系名	時期	制 限 期 間		最大取水制限率		地整本部
昭和４８年度	芦田川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	５９日間	上水３２％、工水７８％、農水７６％	－
	太田川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	５２日間	上水１０％、工水４０％	
	小瀬川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	４９日間	上水５％、工水４０％	
昭和５２年度	小瀬川	秋期	昭和５２年１０月	～ 昭和５３年１月	１１５日間	上水５％、工水５０％	－
昭和５３年度	芦田川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年９月	５０日間	上水４０％、工水８６％	9/7～10/2 26日間
	太田川	秋期	昭和５３年９月	～ 昭和５３年９月	１０日間	上水１０％、工水１０％	
	小瀬川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年１０月	６２日間	上水１０％、工水５５％	
	佐波川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年１０月	６２日間	工水５０％	
昭和５７年度	芦田川	夏期	昭和５７年６月	～ 昭和５７年７月	１６日間	上水１０％、工水８２％、農水５６％	7/3～7/19 17日間
	太田川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	９日間	上水２０％、工水４０％	
	小瀬川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	１２日間	上水５％、工水５０％	
	吉井川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	８日間	上水２０％、工水２０％	
昭和５９年度	太田川	秋期	昭和５９年１１月	～ 昭和５９年１２月	２１日間	上水５％、工水１０％	11/13～12/6 24日間
昭和６１年度	小瀬川	冬期	昭和６１年１２月	～ 昭和６１年１２月	１４日間	上水５％、工水４０％	－
昭和６２年度	小瀬川	冬期	昭和６３年２月	～ 昭和６３年３月	２２日間	上水５％、工水４０％	－
平成４年度	太田川	夏期	平成４年７月	～ 平成４年７月	４日間	上水１０％、工水２０％、農水１０％	6/30～7/21 22日間
平成６年度	斐伊川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年９月	４８日間	上水２０％、工水２０％、農水２２％	7/14～H7.5/11 302日間
	吉井川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年９月	７１日間	上水３０％、工水３０％、農水７０％	
	旭川	夏期	平成６年８月	～ 平成６年９月	４５日間	上水２０％、工水３０％、農水５０％	
	高梁川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年１２月	１１４日間	上水５０％、工水７０％、農水９０％	
	芦田川	夏期	平成６年７月	～ 平成７年５月	３００日間	上水３０％、工水６８％、農水９０％	
	太田川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年１０月	９８日間	上水２７％、工水６０％、農水６０％	
	小瀬川	冬期	平成６年１２月	～ 平成７年５月	１４４日間	上水１０％、工水５５％	
	佐波川	秋期	平成６年９月	～ 平成７年４月	２２７日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	
平成７年度	芦田川	夏期	平成７年８月	～ 平成８年３月	２２０日間	上水１０％、工水６０％、農水５０％	－
平成８年度	芦田川	夏期	平成８年８月	～ 平成８年９月	３９日間	上水５％、工水５０％、農水５０％	－
平成１４年度	旭川	秋期	平成１４年９月	～ 平成１４年１１月	７０日間	上水１０％、工水２０％、農水３０％	11/25～H15.2/26 94日間
	高梁川	秋期	平成１４年９月	～ 平成１４年１２月	１０２日間	上水１０％、工水２０％、農水３０％	
	芦田川	秋期	平成１４年１１月	～ 平成１５年３月	１０４日間	工水３０％、農水４０％	
平成１７年度	日野川	夏期	平成１７年６月	～ 平成１７年７月	２４日間	上水３５％、工水３５％、農水３５％	7/1～7/15 15日間
	高梁川	夏期	平成１７年７月	～ 平成１７年７月	２日間	上水１０％、工水１０％、農水３０％	
平成１９年度	佐波川	冬期	平成１９年１月	～ 平成１９年４月	８９日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	12/20～2/5 48日間
	日野川	春期	平成１９年５月	～ 平成１９年７月	４５日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	
	佐波川	秋期	平成１９年１１月	～ 平成２０年２月	８７日間	上水３０％、工水３０％、農水３０％	
	高梁川	冬期	平成１９年１２月	～ 平成２０年１月	２２日間	上水５％、工水５％、農水１０％	
	小瀬川	冬期	平成２０年１月	～ 平成２０年１月	２３日間	上水５％、工水１０％	
平成２０年度	江の川	夏期	平成２０年８月	～ 平成２０年１０月	５１日間	農水７０％	8/22～10/8 48日間
	高梁川	夏期	平成２０年８月	～ 平成２０年１０月	５２日間	上水５％、工水１０％、農水２０％	
	芦田川	秋期	平成２０年１１月	～ 平成２１年３月	１１９日間	工水２０％、農水２０％	
平成２１年度	日野川	春期	平成２１年５月	～ 平成２１年６月	２５日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	6/2～7/13 42日間
	芦田川	夏期	平成２１年６月	～ 平成２１年７月	５０日間	工水３０％、農水３０％	
平成２２年度	小瀬川	冬期	平成２２年１２月	～ 平成２３年３月	９２日間	上水５％、工水２０％	12/21～3/23 93日間
	佐波川	秋期	平成２２年１０月	～ 平成２３年２月	１２３日間	上水３０％、工水３０％、農水３０％	
平成２３年度	芦田川	春季	平成２３年４月	～ 平成２３年５月	２９日間	工水２０％、農水２０％	－
平成２５年度	日野川	春期	平成２５年５月	～ 平成２５年６月	３５日間	上水５％、工水５％、農水２０％	5/21～7/9 50日間
	斐伊川	春期	平成２５年５月	～ 平成２５年７月	４９日間	基準点確保流量７０％減	
	芦田川	夏期	平成２５年６月	～ 平成２５年６月	１０日間	工水２０％、農水２０％	
	斐伊川	夏期	平成２６年７月	～ 平成２６年８月	２５日間	基準点確保流量５０％減	
平成２７年度	斐伊川	春季	平成２７年５月	～ 平成２７年６月	４２日間	基準点確保流量４０％減	－
	斐伊川	夏期	平成２７年７月	～ 平成２７年９月	３３日間	基準点確保流量５０％減	
平成２８年度	斐伊川	夏期	平成２８年７月	～ 平成２８年９月	３３日間	基準点確保流量５０％減	－
平成２９年度	斐伊川	夏期	平成２９年６月	～ 平成２９年９月	３９日間	基準点確保流量４０％減	－
令和元年度	日野川	春期	令和元年５月	～ 令和元年６月	８日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	6/13～7/26 44日間 8/19～9/6 19日間
	斐伊川	夏期	令和元年６月	～ 令和元年９月	５０日間	基準点確保流量４０％減	
	千代川	夏期	令和元年８月	～ 令和元年１０月	４４日間	農水３０％	
令和２年度	斐伊川	夏期	令和２年６月	～ 令和２年６月	５日間	基準点確保流量３０％減	－
	佐波川	冬期	令和２年１２月	～ 令和３年２月	５６日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	
令和４年度	日野川	春期	令和４年５月	～ 令和４年９月	６１日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	6/24～9/1 70日間
	斐伊川	夏期	令和４年６月	～ 令和４年７月	２０日間	基準点確保流量４０％減	
	佐波川	夏期	令和４年７月	～ 令和４年８月	５３日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％	
	旭川	夏期	令和４年７月	～ 令和４年７月	１９日間	上水１０％、工水３０％、農水５０％	
	芦田川	冬期	令和５年３月	～ 令和５年４月	２９日間	工水２０％、農水２０％	
令和５年度	江の川	秋期	令和５年９月	～ 令和６年１月	１４５日間	農水８０％、上水１５％、ダム地点確保流量30%減	11/13～3/8 117日間
	佐波川	冬期	令和５年１１月	～ 令和６年２月	１００日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	
	高梁川	夏期	令和５年１１月	～ 令和６年２月	１０７日間	上水２％、工水５％、農水２０％	
	小瀬川	冬期	令和５年１２月	～ 令和６年３月	７３日間	上水５％、工水１０％、農水２０％	
	芦田川	冬期	令和５年１２月	～ 令和６年３月	８８日間	工水２０％、農水２０％	
令和６年度	日野川	夏期	令和６年６月	～ 令和６年６月	１７日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％	6/12～6/24 13日間
	斐伊川	夏期	令和６年６月	～ 令和６年７月	２１日間	基準点確保流量４０％減	
		夏期	令和６年８月	～ 令和６年１０月	６３日間	基準点確保流量４０％減	

※自主節水及び取水制限一時中止期間は日数に含めていません。取水制限を0時以外で開始中止した場合は制限日数にカウントしています。